

新型コロナ

確実なワクチン接種、検査・医療体制の強化、生活困窮者と事業者への支援拡充を

達増知事に来年度予算に関する申し入れ



達増知事(左から3人目)に申し入れる(右から)吉田恭子副委員長、高田県議、菅原県議員、斉藤県議、千田県議(12月13日)

10年9ヶ月余が経過した東日本大震災津波からの復興の課題では、災害公営住宅で孤独死が増え続けており、心のケア対策の継続、「いわて被災者支援センター」の体制強化、集会所への生活支援相談員配置は欠かせないと訴えました。

総選挙でも争点となった気候危機打開では、知事の本

12月13日、日本共産党岩手県委員会と県議団は達増拓也知事に対し「2022年度岩手県予算に関する申し入れ」を行いました。「新型コロナ対策」「東日本大震災津波からの復興」「県民の命とくらしを守る新たな県政めざして」の三部構成です。

菅原則勝県委員長は、岸田政権は国民の願いに背を向け、新たな大軍拡を狙っていると批判。県民の命とくらしを守る県政の役割はますます重要だと述べました。

申し入れでは、感染再拡大防止へ、3回目のワクチン接種を前倒しで進め、「ワクチン・検査パッケージ」無料検査の対象者や期限を拡充するべきだと強調。病床と

- 2022年度岩手県予算に関する申し入れの主な内容
- ◇3回目のワクチン接種を、前倒しを含めて早期・確実に進めること。県としても集団接種に取り組むこと。
 - ◇「いつでも、どこでも、無料で」PCR検査が受けられるよう、検査センター・検査体制を確立すること。
 - ◇被災者が経済的な理由で必要な医療を受けられなくなることがないよう、実態調査を含め具体的な対策を講じること。
 - ◇50戸以上の災害公営住宅集会所に支援を配置し、コミュニティ確立に特別の支援を講じること。
 - ◇高すぎる国保税は引き下げ、子どもの医療費助成は高校卒業までの現物給付化を早期に実施すること。
 - ◇気候危機打開へ、知事を本部長とする全庁的な推進本部を設置すること。

もに、医師・看護師の確保を求めました。



本会議で議案質疑に立つ斉藤県議(12月3日)

12月県議会(11月25日)12月8日では、高田一郎県議が一般質問に立つとともに、斉藤県議が議案に対する質疑に立ちました。

コロナ対策では、高齢者世帯・障がい者世帯・ひとり親世帯で非課税世帯または生活保護世帯を対象に、市町村が行う光熱費や防寒用品等の助成に対し県が2分の1補助を行う補正予算が可決されました。県内全33市町村で実施されます。

また、県営災害公営住宅で暮らす「収入超過者」の収入基準額を本年4月から引き上げる条例改正案も可決しました。現行では災害公営住宅に入居後4年目以降、月収が15万8千円を超えている場合、段階的に割増家賃が発生。改正案は基準額を月収25万9千円に引き上げ、働き盛りや子育て世代の家賃軽減を図ります(70世帯が対象。例えば「3DK、月収20万円、入居後6年目」の場合、月7万7400円の家賃が4月から月4万3200円に減額されます。さらに条例改正案では、入居後5年が経過した時点で月収が31万3千円を超える「高額取得者」に退去を求める措置は「行わない」としました。

最終本会議では、「いわて旅応援プロジェクト」を隣県の県民にも対象を拡大し1月末まで延長する補正予算、「ワクチン・検査パッケージ」を利用するのに必要な

部長とした県の体制構築を図るべきと強調。ジェンダー平等施策では、同性パートナーシップ制度の導入を提起しました。

憲法9条改憲反対やオスプレイ飛行訓練中止も求めました。

達増知事は、「各施策については大いに参考にさせていただきたいと思えます。コロナ対策をはじめ、現場に寄り添った施策が求められており、しっかりと県の予算を準備するとともに、国に対しても言うべきことを言っていきたいと思えます」と答えました。

被災者の心のケア、生活再建と生業の再生を
県民の命とくらしを守る新たな県政めざして

県民と心ひとつに
日本共産党
斉藤 信の
県政報告

2022年1月 No.177
発行: 日本共産党岩手県議団事務局

斉藤信事務所 TEL. 019(651)1241
〒020-0015 盛岡市本町通2-10-6

日本共産党控室 TEL. 019(629)6050
〒020-0023 盛岡市内丸10-1

住まいよい盛岡めざして 日本共産党

5人の市議団と力を合わせて頑張ります

庄子春治 高橋和夫 神部伸也 鈴木 努 三田村亜美子

斉藤信のホームページ
<http://www.saito-shin.sakura.ne.jp/>

国会レポート 参議院議員 いわぶち友 ～いのちと暮らしを守る政治へ～



みなさんに国会に送っていただ
いてから、東京電力福島第一原発事
故で被害にあった方々の声を国会
で届けてきました。「国と東京電力
は、被害者の生活と生業の再建に最
後まで責任を果たせ」「原発ゼロの
決断を」と迫り続けてきました。

原発ゼロを実現するためにも、そしていま世界的
に大問題になっている気候危機を打開するためにも、地域と共生する再生可能エネルギーの導入が必要
です。引き続き、気候危機打開のために、力を尽
くしてまいります。

コロナ禍の下で、いのちも暮らしも生業も、「守
るのは自己責任だ」といって押し付ける自民党・公
明党の姿があらわになってきました。いのちと暮ら
しを守る政治への転換を、憲法が暮らしに生きる社
会の実現を。そのために、みなさんと力を合わせて
まいります。



菊池副知事らに要請する母親連絡会のみなさんと同席する県議団 (12月14日)

岩手県母親大会連絡会の皆さんが県要請

12月14日、岩手県母親大会連
絡会は達増拓也知事にたいし、第
66回県母親大会の決議・宣言に
基づく要請を行いました。

重点項目として、県立病院の
産科医療確保に今まで以上に取
組み、釜石病院の分娩再開をめ
ざすなど、医療体制の拡充を要
求。また県立高校の男子バレー
部員が教員の暴力・暴言を受け
自殺した事件を繰り返さないよ
う、県として「部活動暴力根絶宣
言」をあげるべきと訴えました。

重点項目として、県立病院の
産科医療確保に今まで以上に取
組み、釜石病院の分娩再開をめ
ざすなど、医療体制の拡充を要
求。また県立高校の男子バレー
部員が教員の暴力・暴言を受け
自殺した事件を繰り返さないよ
う、県として「部活動暴力根絶宣
言」をあげるべきと訴えました。

バレー部員 自死事件

顧問教師はただちに厳正な処分を

前任校でも部員に暴力・暴言を繰り返す

12月6日、不來
方高校バレー部員
の自死事件にかか
る第三者委員会の
調査結果を踏まえ
た、再発防止「岩手
モデル」策定の取り
組みについて取り
上げました。
当時の顧問教師
による暴力・暴言が



文教委員会で質疑に立つ齊藤県議 (12月6日)

「鍵を投げつ
けられる」とい
ったバレー部員
の陳述書を紹介
し、顧問教師に
よる暴力・暴言
が日常的に、被
害生徒の学年だ
けでなく数年に
わたり行われて
いたのではない
かと厳しく指摘
しました。陳述

前任校の盛岡一高でも行われ
ており、学校と県教委の対応に
ついて追及しました。被害生
徒・保護者からの訴えがあつた
にも関わらず、まともな調査が
行われずに、裁判に訴えざるを
えなかったと強調。裁判の中で
は、「髪をつかまれて壁に激突
させられる」「繰り返し怒鳴り
ながら平手打ちをした」「日常
の練習でボールを顔にぶつけ
る」「鍵を投げつ
けられる」とい
ったバレー部員
の陳述書を紹介
し、顧問教師に
よる暴力・暴言
が日常的に、被
害生徒の学年だ
けでなく数年に
わたり行われて
いたのではない
かと厳しく指摘
しました。陳述



雫石町の上空を飛行するオスプレイ (12月4日、住民提供)

オスプレイが盛岡市上空でも飛行訓練 日米共同訓練の中止を申し入れ

11月15日、オスプレイ参加の
日米共同訓練の中止を求める緊
急の申し入れを行いました。

申し入れでは、県が政府と米
軍に▽事故多発のオスプレイが
参加する同訓練の中止を迫る▽
オスプレイによる国内外の事故
発生状況と原因を明らかにさ
せる▽県内上空の訓練の実態を
把握する▽国内法無視の低空飛
行訓練をなくすために日米地位
協定の抜本的な見直しを求め
ることを要望しました。対応し
た菊池副知事は「趣旨は認識
している。県民の安全を守るた
め、東北防衛局へ要請した」と
答えました。

道部顧問に追い詰められ部員が
自殺した事件では懲戒免職処分
となっている事例を示しつつ、
遅くとも年度内には厳正な処分
を行うよう強く求めました。
佐藤博教育長は「調査が進み
次第しっかりと判断して対処して
いきたい」と答えました。

道部顧問に追い詰められ部員が
自殺した事件では懲戒免職処分
となっている事例を示しつつ、
遅くとも年度内には厳正な処分
を行うよう強く求めました。
佐藤博教育長は「調査が進み
次第しっかりと判断して対処して
いきたい」と答えました。

米軍再編による訓練移転の名
のもと、オスプレイも参加した訓
練が12月4日～17日まで岩手
山演習場で行われました。訓練が
実施されて以降、県内ではオスプレ
イの低空飛行訓練の目撃情報が急
増。雫石町では12月4日午前10
時20分すぎ、上空で激しい飛行訓
練を繰り返すオスプレイ2機が目
撃され、住民が撮影しました。12
月6日には盛岡市上空でも目撃さ
れ、一関市花泉町、紫波町、軽米町
などでも目撃されています。

福島原発汚染水の説明会 参加者から不安の声相次ぐ

11月18・19日、東京電力福島
第一原発事故によるALPS処理
水を海洋放出する政府方針につい
て、盛岡市と宮古市で県主催の説
明会が開催されました。

- 【11月】
 - 13日 岩手県母親大会、外柳さんの
囲碁新人王戦優勝祝賀会
 - 15日 菊池副知事にオスプレイ参加
の日米共同訓練中止を求める申
し入れ、議連 議案説明会
 - 16日 県政要望を聞く会
 - 18日 東京電力福島第一原発ALPS
処理水についての説明会(資源
エネルギー部)
 - 19日 奥州市議選政策検討会
 - 20日 全県地方議員研修会
 - 22日 県議団一関調査(市商工会議
所、市役所、社会福祉法人、県
立磐井病院)
 - 24日 議連、新型コロナ対策特別委員
会
 - 25日 議連、12月県議会開会
 - 27日 いわて復興未来塾(陸前高田市
一本松ホール)
- 【12月】
 - 1日 3日 本会議一般質問
 - 3日 高田県議一般質問、齊藤県議
が議案に対する質疑
 - 5日 再発防止「岩手モデル」に関す
る懇談会、城東地区9条の会
 - 6日 文教委員会
 - 8日 最終本会議(齊藤県議が議案に
対する質疑、高田県議が意見
書案第一号への賛成討論)
 - 9日 「日米共同訓練へのオスプレイ
参加の中止を求める緊急要
請(憲法改悪反対岩手県共同
センターなど)団体」に同席
 - 11日 連続講座「岩手の再生」新形
コロナにおける医療・保健の現
状と課題
 - 12日 東日本大震災津波救援復興
岩手県民会議第11回総会
 - 13日 達増知事に「2022年度岩手
県予算に関する申し入れ
 - 14日 岩手県母親大会連絡会が菊池
副知事に要望(各部局要請)
 - 15日 地球温暖化エネルギー
対策特別委員会調査(北海道一
セ町、札幌、室蘭市)
 - 18日 東北ブロックいっせい宣伝、講
演会「気候危機を乗り越える」
 - 27日 第一回野党共闘調整会議

無料法律相談
～弁護士が相談に応じます～
1月19日(水) 午後6時～
2月16日(水) 午後6時～
予約電話番号: 651-5881

無料生活相談
毎週土曜日 10時～12時
場所: 齊藤信事務所